

【平成28年第1回定例会 環境委員会委員長報告資料】

平成28年3月18日 環境委員長 勝又 光江

- 「議案第3号 川崎市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（環境局に関する部分）」

《意見》

* 本議案については、当委員会に付託された部分については異議はないと考える。しかし、総務委員会に付託された部分のうち、川崎市行財政改革推進委員会については、市民生活を切り縮める行財政改革を推進するためのものであり、認められないと考えるため反対であることから、整合性を図るために、本議案については賛成できない。

《審査結果》

賛成多数原案可決

- 「議案第34号 仮称リサイクルパークあさお整備事業資源化処理施設建設工事請負契約の変更について」

《審査結果》

全会一致原案可決

- 「議案第43号 川崎市一般乗合旅客自動車運送事業路線を横浜市域内に設置することに関する協議について」

《主な質疑・答弁等》

* 社会実験によって事業予測を行うに当たっての採算性の見込みについて

新設する路線であるため、採算性については明確ではないが、社会実験等の結果を踏まえて検証を行い、本格運行実現後は、採算性の確保を図っていきたいと考えている。

* 当該地域に本路線を設置する理由について

以前からバス路線設置の要望が多い地域であったことに加えて、今回東急バス株式会社との協議により、たまプラーザ駅のバス停留所を共同運行という形態で使用できることとなったため、路線を設置するものである。

* 本路線の使用車両に関する東急バス株式会社との協議について

車両については、東急バス株式会社と協議をしているが、中型又は小型車両で運行した場合、乗客が乗り切れなくなる可能性があることから大型車両による運行を考えている。

* 定期乗車券の取扱いについて

本路線は、横浜市域内に入ると乗車料金が変わるが、定期乗車券については、現在の各事業者ごとの定期乗車券を使用していくことを考えている。現時点では、明確に定期乗車券の取扱いを決定していないが、今後、東急バス株式会社と協議していきたいと考えている。なお、本市が東急バス株式会社と共同運行している市域外の路線はなく、市域内の鷺沼－武蔵小杉間の1路線のみである。

* 横浜市会における議案の審査状況について

横浜市会においては、平成28年2月19日の常任委員会で全会一致で可決され、その後、平成28年2月24日の本会議で全会一致で可決されている。

《意見》

- * 日中時間帯のみの運行であることから、採算性について社会実験中に適切に検証してほしい。
- * 白幡台地区は、バス停留所に出るまでが大変であるとの意見もあった地域である。そのため、既存のバス路線の増発や行き先の増加といった対応だけではなく、当該意見も踏まえた地域交通の在り方についても、路線設置と併せて検討してほしい。また、正確な事業予測を持って今後の取組を進めてほしい。
- * 地域住民が待ち望んでいた路線であるため、料金体制やバス停留所、運行時間等の詳細について、今後東急バス株式会社と協議・検討を進めていく際には、地域住民の声を適切に反映させた内容にしてほしい。
- * 社会実験を通じて、細部にわたる最終調整を行うということであるので、利用者の意見を的確に把握して調整の上、速やかに取組を進めてほしい。

《審査結果》

全会一致原案可決